

絶滅危惧類 バラ科

カラフトダイコンソウ

Geum macrophyllum Willd. var. *sachalinense* (Koidz.) H. Hara

【選定根拠】 県内における生育地がごく少ない。分布する他県においてもしばしば絶滅が危惧されている。

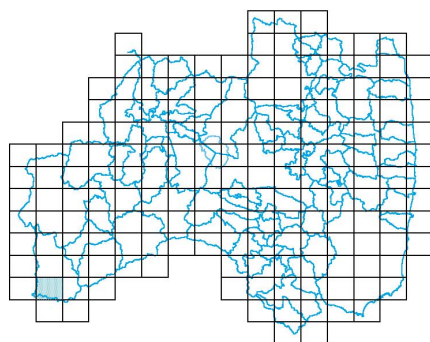
【形態】 全体に黄赤色の剛毛の多い多年草。根出葉は有柄の羽状複葉で、側小葉は極めて小型で1~2対、頂小葉は円形。茎葉は側小葉がなく卵円形で下部3浅裂、上部3中裂。托葉は小さく卵状披針形で多くは全縁。花は黄色で径約15mm、花柄に開出する長毛がある。集合果は球形で、花柱には有柄の腺を散生する。オオダイコンソウは茎葉が3~5小葉からなり、集合果は紡錘形、県内に多いダイコンソウは根出葉の側小葉はより大きく、花柄に短毛を密生するが開出する長毛はない。

【分布】 ロシア(樺太、千島)および日本。国内では北海道、東北(青森、宮城、秋田、山形、福島)、中部の山地に生える。

【県内の分布、生育状況】 県内では会津の尾瀬周辺のみで報告がある。以前からの増減は不明である。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限

【特記事項】 産地である尾瀬の植生全体を適切に保全することが望ましい。



絶滅危惧類 バラ科

リンボク

Prunus spinulosa Siebold et Zucc.

【選定根拠】 県内における生育地がごく少ない。福島県が北限である。

【形態】 高さ7mになる常緑の小高木。葉柄は長さ8~10mm、葉身は倒披針状長楕円形または狭長楕円形、長さ7~9cm、鋭尖頭、上半分にまばらな鋸歯があるか全縁。当年枝の上部葉腋から葉のない、長さ5~8cmで、短毛を密生する穂状の花序を出す。花は花序に多数つき、花柄は長さ2~3mmで短毛を密生し、花弁は白色。果実は長楕円形で長さ約9mm、紫褐色から黒紫色。

【分布】 日本固有で本州(福島以南)、四国、九州、琉球の山地の谷間などに生える。福島県が北限である。

【県内の分布、生育状況】 茨城県北茨城市が北限と見られていたが、1990年代になって浜通りのいわき市の4カ所で発見・報告された(堀 1992)。今のところいわき市内の数カ所の主にスギ・アカマツの植林や竹林で知られるのみである。成木はほとんど見られない。以前からの増減は不明である。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限

【特記事項】 福島県が北限である。生育地であるスギ・アカマツの植林を適切に管理し、生育環境を良好に維持することが望ましい。

【主要文献】

堀 富雄 . 1992 . 福島県新産植物と稀産植物の新産地 . フロラ福島10 : 23-29 .

